2026年度　（医学研究科博士課程）講義科目コンピテンス・コンピテンシー

		全体選択数					教科課程																進捗状況の審査		
							1～2年次												2年次	3年次	4年次	1～4年次	2年次	3年次	4年次
							共通教育科目												特別研究			研究特論	初期審査	中間審査	最終試験
							（基盤教育）											（発展分野教育）	（専門分野教育）			（専門分野教育）			
							必修	必修	必修	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	必修	必修	必修	必修	必修/選択	（非公開）	（非公開）	（公開）
		対象外	レベルC（初期レベル）	レベルB（中間レベル）	レベルA（最終レベル）	修了時コンピテンシー	研究方法論	橋渡し研究・産学連携概論	ベーシックセミナー	医学英語	がんのベーシックサイエンス	緩和医療学	臨床免疫学概論	先端生命・医療画像技術特論	地域・政策医療学	生命科学解析手法概論	脳のベーシックサイエンス	大学院セミナー	特別研究Ⅰ	特別研究Ⅱ	特別研究Ⅲ	各専攻分野研究特論	（研究計画調書の審査）	（研究進捗量用の審査）	（論文投稿）
	コンピテンス項目																								
1	医学的知識	1	11	2	1	基礎、臨床（応用）さらには学際的な分野にいたるまでの幅広い知識を身につけて、革新的な医療を立案することができる。	C	C	C	―	C	C	C	B	C	C	C	C	C	B	A	各科目毎の達成度はシラバス参照	C	B	A
2	情報収集力	1	11	2	1	最新の生命科学ならびに医学研究の動向について、継続的に情報収集をし、解析を続けることができる。	C	C	C	―	C	C	C	C	C	B	C	C	C	B	A		C	B	A
3	課題解決力	3	10	1	1	医療や生命科学研究の分野で、新たな課題を現実の問題から見いだすことができる。 課題解決に向けて自ら研究を計画・立案し、遂行できる。	C	C	C	―	C	C	C	―	C	―	C	C	C	B	A		C	B	A
4	情報発信力	2	10	2	1	自らの思考、判断の過程や結果を論理的に説明し、的確に記述することができる。	C	C	C	B	C	C	C	―	C	―	C	C	C	B	A		C	B	A
5	コミュニケーション力	2	10	2	1	自らが見出した新知見を国際的に紹介し、討議できる。	C	C	C	B	C	C	C	―	C	―	C	C	C	B	A		C	B	A
6	医療・医学への貢献 医師	4	3	7	1	医師として、その診断や治療能力を活かして地域医療の向上に参画できる。	C	C	―	―	B	B	B	―	B	―	B	B	C	B	A		―	―	A
	医療・医学への貢献 研究者	4	3	7	1	研究者として、その科学的技能を活かして生命科学の進歩に貢献できる	C	C	―	―	B	B	B	―	B	―	B	B	C	B	A		―	―	A
7	医療・医学研究倫理	4	9	1	1	高い倫理性を持って、高度医療や医学研究を遂行できる。	C	C	―	―	C	C	C	―	C	―	C	C	C	B	A		C	B	A
8	人材育成力	2	11	1	1	次世代の人材育成に貢献できる。	C	C	―	C	C	C	C	―	C	C	C	C	C	B	A		―	―	―

【レベルABCの判定基準】

※レベルA：コンピテンシー達成のレベルに位置する

※レベルB：コンピテンシー達成の中間レベルに位置する

※レベルC：コンピテンシー達成の基本（初期）レベルに位置する

※対象外(ー)：修得の機会が無い